

やない 議会だより

5月臨時会
6月定例会

Yanai City Council Information

2023.7.27 No.74

【主な内容】

- ・臨時会・定例会の概要 2頁
- ・一般質問の要旨 4頁
- ・委員会での審査 8頁



周防大島町議会へタブレット活用状況視察

**第1回臨時会は5月16日
(火)に開催しました。**

第1回臨時会は、5月16日に開催され、市長から議案第31号損害賠償に関する和解及び額の決定について、議案第32号令和5年度柳井市一般会計補正予算(第3号)、承認第2号専決処分承認を求めることについての議案2件、承認1件が提案されました。

補足説明、質疑の後、承認1件は即決しました。その他の議案については、各所管の常任委員会に付託され、直ちに委員会を開催して慎重審議の後、本会議で委員長報告、討論・採決を行い、全会一致で可決しました。

第2回定例会は6月9日(金)から26日(月)までの18日間の会期で開催しました。

今定例会では、初日に、議案5件、承認4件、同意14件及び報告5件が市長から提案され、補足説明、質疑の後、承認4件及び同意14件については即決し、議案5件については、所管の常任委員会に付託しました。また、陳情1件が上程され、配布・表題等の読み上げがなされました。

一般質問は6月9日に2人、12日に4人、13日に2人の計8人の議員が、18項目にわたり、市長、教育長及び関係参与に質問を行いました。

**令和5年度
柳井市一般会計補正予算
(第4号)**

本議案は一般会計について1億8,259万1千円を追加するもので、歳出の主なものは次のとおりです。

総務費 企画費の需用費、役務費、委託料に「やない暮らし」

援買物券」の配布に要する経費が計上されています。これは、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民の生活支援を図るため、本年8月1日現在の市民を対象に、買物券5千円分の配布を行うものです。なお、「やない暮らし」

負担金補助及び交付金には、「やまぐち創生



ウイルス感染症対応地
方創生臨時交付金を充
当して実施することと
しています。



会期中の6月15日に総務文教厚生、16日に建設経済水道の各常任委員会、そして19日にゼロカーボンシティ推進特別委員会をそれぞれ開催し、付託議案等について審査を行いました。

26日の本会議最終日は、議案5件について委員会での審査の経過と結果が報告され、討論・採決を行い、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

また特別委員会の調査は終了した旨の委員長報告を受けて、ゼロカーボンシティ推進特別委員会の廃止の件が追加日程として、議長から提案され、全会一致で本特別委員会を廃止することが可決されました。

衛生費 保健対策費には、新型コロナウイルススワクチンの個別接種促進支援事業が県から移管されたことに伴い、要件を満たす医療機関に対して支援金を支給する経費が計上されています。



テレワーク移住支援金」が計上されています。これは、山口県が新たな移住支援策として事業化したもので、東京圏、愛知県、京都府、大阪府及び兵庫県から市内へ移住し、移住元の業務をテレワークで行うなどの要件を満たした方に支援金を支給するものです。

令和5年6月定例会議案等の審議結果

【全会一致で議決した議案等】

【議案】

- ・柳井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- ・柳井市税条例の一部改正について
- ・柳井市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
- ・工事請負契約の締結について

【承認】

- ・専決処分の承認を求めることについて (4件)

【同意】

- ・教育委員会委員の任命について (厚坊 俊己 氏)
- ・農業委員会委員の任命について (13件)
(大崎 正男 氏) (岡本 幸子 氏)
(勝本 澄人 氏) (亀山 真由美 氏)
(齋藤 貴之 氏) (下土井 進 氏)

- (菅岡 利夫 氏) (鈴木 喜義 氏)
- (寺西 久美子 氏) (中元 茂雄 氏)
- (原田 淳一 氏) (宮本 三雄 氏)
- (山重 義則 氏)

【報告】

- ・令和4年度柳井市一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- ・令和4年度柳井市水道事業会計予算の繰越しの報告について
- ・令和4年度柳井市下水道事業会計予算の繰越しの報告について
- ・柳井市土地開発公社の経営状況について
- ・一般財団法人やない花のまちづくり振興財団の経営状況について

【陳情】

- ・国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書

6月定例会で賛否が分かれた議案等 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ※議長は表決に加わりません。	審議結果	各会派議員の賛否			賛否数	
		政友クラブ	やない経政会	1人会派	賛成	反対
		藤平 沢井 宏保 司彦	君山 国本 泰達 照也	田岩 篠坂 中田 脇ノ 晴優 美美 坂 中 井隆 孝美 中川 川崎 岡本 泰好 光茂 平岡 島友 行雄 三本 島友 行雄 長岡 友村 光茂 岡村 村樹 太郎 下村 太郎	○	●
【議案第36号】 令和5年度柳井市一般会計補正予算（第4号）	可決	○ ○	○ ※	○ ○ ○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ● ○ ○	13	2

地域高規格道路の整備、私道譲渡の要綱整備、公共施設トイレの改修について



下村 太郎 議員

問 地域高規格道路としての柳井玖珂道路の整備は、救急医療、企業の発展・誘致、観光、市民生活の向上等の観点で大きな波及効果をもたらします。実現に向けた取り組みについて伺います。

答 山陽自動車道や山陽新幹線新岩国駅等の高速交通体系へのアクセスについては、主要地方道柳井玖珂線が大きな役割を担っているが、現道には急峻な峠区間や市街地での滞留といった課題がある。そのため、平成11年11月に、当時の関係自治体1市10町が、山口県東部高速交通体系整備促進協議会を設立し、柳井玖珂間地域高規格道路の早期実現に向けて要望活動を行ってきた。今後、柳井玖珂間の道路の高規格化については協議会の構成市町と一体となり、引き続き粘り強く要望するとともに、直面する交通課題の解消に向け、現道の安全性・走行性の向上に資する交差点改良等についても県と連携して取り組んでいく。

問 私道の土地所有権の柳井市への譲渡手続きに関する要綱整備について伺います。

答 私道の土地所有権を本市に譲渡する要綱の整備については、それぞれに異なった状況、様々な地元事情がある中で、市道認定基準などとの整合性を図る必要がある、引き続き慎重に検討を重ねていきたい。

問 公共施設のトイレの洋式化と汲み取り式トイレの簡易水洗化は、住民の福祉と公衆衛生の観点で重要と考えられます。今後の整備方針について伺います。

答 これまでトイレを対象とした全体的な整備方針は定めていないが、市有施設を市民の皆様が快適に利用していただけるよう、引き続き、施設ごとに利用状況や市民のニーズ等を踏まえ検討し、大規模なものは実施計画に計上した上で事業を実施していく。

複合図書館の運営について



岩田 優美 議員

問 オープンに向けたPR方法やイベントなどの計画についてお伺いいたします。

答 広報やないでは、5月から隔月で特集記事として「翠が丘通信」の掲載を開始し、柳井図書館においても、6月から「図書館だより」を発行し、複合図書館関連の情報発信を始めた。また、複合図書館の愛称を募集しており、PRの機会として生かしている。さらに、今後、開館に向けて機運を高めるイベントを実施し、計画的なPRに取り組んでいきたい。

問 複合図書館に誰でも気軽に利用できるように、阿月方面、伊陸・大島・日積方面などを含めた交通弱者の市民への配慮として公共交通や循環バスの運用についてお伺いいたします。

答 路線バスの乗り入れ、予約制乗合タクシーの経由については、関係者と協議しており、前向きに検討いただいている。

問 複合図書館の管理運営方針を今年2月26日に柳井市立柳井図書館

が作成しています。その中からいくつかお伺いいたします。

平日の開館時間が21時までなのに土日祝日が18時までと短い理由を教えてください。

答 県内の公立図書館の状況や、説明会等でのご意見、市内の公共施設の利用状況を考慮し、18時までの開館とした。

問 市民活動センター評価委員会と図書館協議会の役割は何ですか。

答 市民活動センター評価委員会は、センターの管理運営に関し、客観的評価を行うとともに、課題の解決、改善すべき事項に対して、助言をする。一方で、図書館協議会は、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスに対して意見する。

問 図書館サポーターはいつから募集して何をしてもらうのでしょうか。

答 秋頃からの募集を予定しており、イベントを実施する際に計画段階からご協力していただくことを考えている。

スクールバスの有効利用について
自転車用ヘルメットの着用について



岡村 茂樹 議員

問 スクールバス導入の経緯についてお伺いいたします。

答 スクールバスについて、本市では、平成15年4月から、日積地区の旧大里小学校と旧日積小学校の統合により、新たに日積小学校を開校する際に運行を開始している。その後も小学校、中学校の統合の際に、自宅からの距離と通学時の児童生徒の安全を考慮し、検討協議の上、導入に至っている。

問 路線バスの廃止に伴い交通手段の確保が困難となってきた現状において、スクールバスの有効利用はできないかお伺いいたします。

答 コミュニティバスの運行については、まず前提条件として、定期、定時運行が基本となるものと認識している。一方で、スクールバスは、各学校の授業カリキュラムに応じて運行しており、運行時刻や曜日が極めて流動的であり、実際に利用するとなると、市民の皆様にとって、利便性が高い交通手段とはなりにくいのではないかと思われる。児童生徒

の学校活動に対応した運行や、安心安全な通学方法を担保するためにも、一般の方が混乗するコミュニティバスとしての活用は、現時点では困難であると認識している。しかしながら、今後も、地域や学校の状況も日々変化していく中で、各地域の公共交通の在り方について研究に努めていきたい。

問 自転車用ヘルメット購入費用の補助はできないかお伺いいたします。

答 自転車用ヘルメット購入費用の補助について、中学校においては、通学時に自転車を使用する生徒に対し、ヘルメットの購入費の補助を教育委員会が行っている。今後、県内の市町の動向も注視しながら、研究していきたい。



都市排水対策、スポーツによるまちづくりのあり方について



篠脇 丈毅 議員

問 東土穂石雨水ポンプ場の排水効果を高めるため、幹線水路の整備について伺います。

答 幹線水路の整備については、現在整備している東土穂石雨水ポンプ場の完成後、その能力を最大限に發揮させるため、雨水公共下水道事業にて雨水幹線の断面を大きくするなどの水路整備を計画している。

問 市街地全体の治水対策をどのように進める考えですか。

答 今年度作成予定の市街地における雨水出水浸水想定区域図を基に、内水氾濫が発生した場合の浸水状況を予測し、下水道事業計画区域内の各ポンプ場のポンプの増設や雨水幹線の整備を計画的に進めていく。

問 全国区にあるバドミントン競技団体に支援はできませんか。

答 今年度から、スポーツ大会等宿泊誘致事業を創設している。この事業も活用していただき、全国各地から300人以上の選手が集結する高校の女子バドミントン大会が、7月に開催される。こうした支援によ

り、競技水準の維持・向上だけでなく、選手同士の交流を通じた、教育的な効果も実現していきたい。

問 中学校部活動の地域移行には、国の方針を受け、どのように具現化する考えですか。

答 休日の部活動について、スポーツ・文化活動関係団体の協力を得ながら、各中学校へ外部指導者を実情に応じて適宜配置し、生徒が専門的な指導を受けることができるよう、地域と学校、行政が連携して取り組んでいく。

問 地域での指導者確保と活動を支える受け皿として、スポーツ協会の役割は大きい。どのように理解、協力を得る考えですか。その上で組織基盤強化のため、法人化を検討すべきと考えますが。

答 地域移行を進めていく中で、柳井市スポーツ協会と連携しなければならぬと考えており、協議会の中で密に意見交換していきたい。法人化については、近隣の事例を参考にしながら研究していきたい。

金魚ちようちんを全国・全世界へ
サイン計画について



三島 好雄 議員

問 金魚ちようちんの首都圏への普及の先駆けは、県に派遣された市職員の努力のためであることに間違いはない。

最近では、カワノ工業が創業90周年記念事業として、柳井金魚ちようちん応援プロジェクトを進めるなど、金魚ちようちんの普及に大変貢献されている。

柳井市としても日本国内だけでなく中国、台湾など金魚が好かれる国に販売ルートを確認して、大量販売ができるようにしてはどうか。

答 全国各地でそれぞれのご縁を通じて、特に夏場に夏らしいものとして金魚ちようちんが大々的に装飾される機会が増えてきている。装飾にご協力いただいている各施設の運営関係者の方々には、感謝の気持ちを伝えるとともに、今後の継続的な発展につながるようお願いしている。こうした約10年ほど前からの積み重ねの上に、近年の金魚ちようちんの普及があると認識している。そして、市内の企業が金魚ちようちん

の更なる普及に献身的なご尽力をいただいております、その普及伝道師としての取組に対し心から敬意を表し、深く感謝申し上げますところである。これからも、様々な工夫による地道な取組を通して、市民や企業の皆様との連携・協力により、本市が誇る金魚ちようちんが有するその魅力を全国へ世界へと、各地に発信していく。

問 サイン計画について、観光客に分かりやすいように、写真を入れた魅力的なビジュアル標識を作ったかどうか。

答 看板の作成にあたっては、地域の歴史や文化に即して、デザイン、色彩なども工夫し、分かりやすいデザインとすることが重要である。今後、観光案内看板の整備に取り組んでいる他の自治体を参考としつつ、本市の重要な観光資源の活用やまちの景観の向上などに資するデザインとなるよう調査研究を行っていく。

水道料金について
生理用品の学校トイレへの設置
について
自転車用ヘルメットについて



長友 光子 議員

問 今でも高い水道料金が、12月検針分より値上げになります。市民の大変な負担増になり、とりわけ、低所得者と子育て世帯への影響は深刻です。水道料金の補助に関する施策が必要ではないでしょうか。

答 低所得者や子育て世帯に対しては、医療費や中学生の給食費の無償化などの本市の独自施策を中心とし、国の制度も活用しながら様々な角度から総合的に判断し、支援を実施している。水道事業は地方公営企業として、「独立採算制の原則」により、事業運営を行っていることから、水道料金に特化した一般会計からの補助ではなく、今後とも、より広い視点からのより効果的な支援策について継続し充実させていきたい。

問 児童・生徒が生理用品の確保に不安を感じることなく、安心して学校生活を送ることができるようになることが大切です。「子どもの貧困」対策や「ジェンダー平等」の立場から、生理用品をトイレトイレットペーパーと同じように、学校トイレに設置す

ることが必要ではないでしょうか。

答 現在、本市では全ての小中学校で保健室に生理用品を用意しており、トイレに設置する指示は行っていない。その理由として①継続的にトイレに置き続けることによる衛生的な問題②貧困が原因で生理用品を用意できない児童生徒が、誰なのか学校側が把握できないことなどがある。現状の保健室での生理用品対応により、生理用品を用意できない児童生徒を学校が迅速に把握し、福祉につなげていくことが重要であると考えている。

問 自転車用ヘルメットの着用が、努力義務になりました。死亡事故防止にヘルメットは大変有効です。脱炭素の面からも、自転車移動が促進されています。誰もがヘルメットを購入しやすくするために、補助制度が必要ではないでしょうか。

答 首都圏等では、市民を対象とした購入に対する補助を行っている自治体もある。今後、県内市町の動向も注視しながら、研究していきたい。

街中の温泉復活について
AIの活用状況について



岡本 泰行 議員

問 長く営業されていた余田地区の健康温泉も5月で閉館、柳井温泉も廃業されており、市内から温泉が無くなりそうです。高齢化の進んだ街に絶対必要な施設だと思えます。健康、コミュニケーションの場として、観光の目玉として復活できないでしょうか。ご意見を伺います。

答 本市には、アデリーホシパークのアクアヒルやない内に、温浴施設がある。この施設は、街中から車で5、6分のところに位置し、リラクゼーションや健康増進の場として、老若男女を問わず、月に約2,000人、年間で約2万4,000人もの方々にご利用いただいている。本市としては、引き続きアクアヒルやないの維持管理に努めていく。現時点において、さらに新たな温浴施設や温泉施設を建設する計画はないが、民間事業者による取組を支援していきたい。



問 当市におけるAIの活用状況、これからの導入予定について。長野県の伊那市では、「もーば」と言うバスがすでに活躍しています。検討できないかお尋ねします。

答 今日、AIはさまざまな分野で活用されており、私たちの日常生活にも欠かせない存在となってきている。本市では順次AIの技術を使ったサービスの導入を進めており、その結果として職員の業務負担を軽減し、市民サービスの向上にもつながっているものと考えている。また伊那市のモバイル市役所「もーば」は、中山間地域等に向いて行政サービスをを行うものであり、これは本市の5倍近い広さの市域に集落が分散している状況を補完するために導入されたものと認識している。現時点では「もーば」と同様の仕組みを本市として検討していないが、市民にとって利便性が高く、効率的なサービスを提供できるよう、自治体DXを推進していく。

活気みなぎる金魚ちようちん祭り
について
緑化推進について



君国 泰照 議員

問 金魚ちようちん祭りは、今や柳井市を代表する風物詩となっております。今後、更に山口県の名物行事として、市民の誇りと自慢できるイベントとして、どのような企画案をお持ちかをお尋ね致します。

答 今年度は、特段の制限を設けずにコロナ禍以前の形態で祭りを開催する予定である。内容としては、麗都路通りにおいて、柳井地区広域消防組合の消防音楽隊による演奏や、柳扇会による金魚ちようちん踊り、株式会社トクヤマや日鉄ドラム株式会社も企画されている金魚ねぶたの運行などが再開される。そのほか、多くの団体が趣向を凝らしたイベントを実施される。また、SNSを活用し、「映えるスポット」を発見し投稿してもらい、「キンスタグランプ」の開催を予定している。金魚ちようちん、そして、金魚ちようちん祭りは、故郷を離れている人々に故郷を思い出していただけるものであり、さらにPRに努めていきたい。

問 柳井市は緑に囲まれていると言

われるが、果たして整備をされた緑化が進んでいるのだろうか。また市民や移住者の方々がふるさと柳井市に愛着が持てて住みたくなるふるさと作りが必要である。各地域の竹林や、雑木林、各公園や緑地の整備、国・県・市道等の景観環境整備は今ひとつです。フラワーランドのバラ園の整備についてお尋ねを致します。

答 道路、公園を問わず、安心、安全の確保はもとより、樹木を健全に保ち、町並みの景観向上を図るためにも、計画的な維持管理に努めながら、緑化推進に取り組んでいきたい。またやまぐちフラワーランドについては、山口県花き振興センターと一層連携し、工夫を凝らしながら県産花きのPR、来園の促進、施設の魅力向上につなげていきたい。



答弁する井原市長

総務文教厚生

常任委員会

委員長 岩田優美

本委員会は、会期中の6月15日と閉会中の5月12日に開催し、議案4件及び付託調査事項等について審査を行いました。

議案第34号柳井市税条例の一部改正について、委員から特定小型原動機付自転車かどうかは、どこが判定するかとの質疑に、保安基準等の適合性については、地方運輸局による型式認定番号標や性能等確認実施機関による表示が目安になる。販売証明書等の資料により税務課に申告し、登録・ナンバープレートとの交付という手続きになるとの答弁があり

ました。

議案第36号令和5年度一般会計補正予算(第4号)について、委員から以前の低所得者層への3万円の給付と違い、今回のやない暮らし応援買物券5千円分を全員へ給付するというのはばらまきであり、費用対効果が薄いのではないかとの質疑に、昨年度までの買物券はプレミアム付きであり、市内経済の下支えや活性化を図るためであった。今回は食料品価格等の物価高騰を受けた市民の生活支援を目的として全員に配布するとの答弁がありました。

議案審査の後、教育委員会から市内小学校における教員のタブレット端末内の個人情報報が児童の目に触れた

事案について、報告のあと質疑がありました。閉会中の付託調査事項の報告はありませんでした。

その他の事項では、DX推進方針策定について、複合図書館愛称募集について、複合図書館カフェ運営事業者募集について、複合図書館建設工事進捗状況について、ひとづくりアカデミーの開催について、ふるさと納税について、アデリーホシパークの事故について、市の文化財保護に係る予備費の充用について、マイナンバーカードの交付状況等について、第4期柳井市地域福祉計画・柳井市地域福祉活動計画について、報告のあと多くの質疑が交わされました。また委員からは生

活保護の収入認定について、インフルエンザの感染状況について質疑がありました。5月12日は平郡東小学校、平郡東小学校体育館及び平郡診療所の管内視察を行いました。

4月27日に開催し、議案1件及び付託調査事項等について審査を行いました。

議案第35号柳井市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について、委員から減免の内容を尋ねる質疑に、企業が取得した建物や償却資産等に対する課税を3年間免除する内容になっているという答弁がありました。



総務文教厚生常任委員会

建設経済水道

常任委員会

委員長 川崎孝昭

本委員会は、会期中の6月16日、閉会中の

4月27日に開催し、議案1件及び付託調査事項等について審査を行いました。議案第35号柳井市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について、委員から減免の内容を尋ねる質疑に、企業が取得した建物や償却資産等に対する課税を3年間免除する内容になっているという答弁がありました。

付託調査事項等では、第32回金魚ちょうちん祭りについて報告がありました。委員から、ファイナールの花火について、一般質問の際に打ち上げる場所がないという決定事項のように聞こえたが、検討の余地はもうないのかという質疑に、本年のファイナールの花火に

については、実施しない事になっている。ただ今後、花火を打ち上げる場所を検討するために、皆さんの情報をお願いしたいという答弁がありました。



建設経済水道常任委員会

そのほか執行部から、企業誘致向け土地・建物の募集について、県内就職促進月間の取組について、やない白壁花香遊の開催報告について、「金魚ちょうちん」を活用した活動について、水道料金・下水道使用料の改定の

広報について、柳井地域水道事業の広域化について報告がありました。

その他の事項についても報告と説明の後、様々な観点から多くの質疑応答がなされました。

ゼロカーボンシティ
推進特別委員会

委員長 藤沢宏司

昨年の9月に設置された「ゼロカーボンシティ推進特別委員会」はこれまで10回の委員会を開催し、各委員より提案されたゼロカーボンシティに向けた提言を提言書として取りまとめ、5月19日に議長も同席し、柳井市長に提出しました。

今後の柳井市の取組は、市民、事業者、行

政が一緒に取り組むための計画「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を今年度中に策定する予定となっています。

特別委員会は当初より、ゼロカーボンシティに向けた提言を取りまとめ、柳井市に提言することにしており、当初の目的が達成されたためこの議会において廃止されました。今後は総務文教厚生常任委員会において所管することになります。



市長に提言書を提出する藤沢委員長

議会運営委員会

委員長 中川隆志

議会運営委員会を5月11日、6月2日及び6月26日に開催したので概要を報告します。

(1) 5月の第1回臨時会及び6月定例会の会期、日程及び議案の付託先等に関する協議を行いました。

(2) 今定例会から一般質問の時間を40分から従前どおりの60分に戻すことを確認しました。

(3) 農業委員会委員の同意案件に関し、新任委員は、これまでの申し合わせどおり議場であいさつを受けることを確認しました。

(4) クールビズに関し、昨年同様6月から

9月までの間の本会議及び5月の第1回臨時会において、ノーネクタイ、またそれぞれの議員の判断によって、上着を取つても良いとする旨を協議しました。

(5) 議会運営委員会の付託調査事項は、「議会の運営及び議会の会費規則、委員会に関する条例等並びに議長の諮問に関する事項について」と決定し、議長にお取り計らいをお願いしました。



議会運営委員会

傍聴にお越し下さい

柳井市議会では議会の傍聴ができます。本会議、委員会では、市民の皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されます。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴しましょう。

主な議会の動き

4月



- 6日・会派代表者会議
- 7日・令和5年第89回山口県市議会議長会定期総会
- 12日・議会だより編集委員会
- 14日・ゼロカーボンシティ推進特別委員会
- 27日・建設経済水道常任委員会

- 16日・臨時会
・総務文教厚生常任委員会
・建設経済水道常任委員会
・全員協議会
- 19日・余田小学校6年生議場見学
・「ゼロカーボンシティに向けた提言」提出
・令和5年度柳井地区広域市町議会議長会定期総会

- 12日・全員協議会
- 13日・本会議3日目
- 14日・全国市議会議長会第99回定期総会
- 15日・総務文教厚生常任委員会
- 16日・建設経済水道常任委員会
- 19日・ゼロカーボンシティ推進特別委員会
- 26日・議会運営委員会
・本会議最終日
・全員協議会
・議会だより編集委員会

5月



- 11日・愛知県岡崎市からの視察受入れ
・議会運営委員会
・ゼロカーボンシティ推進特別委員会
- 12日・総務文教厚生常任委員会管内視察

- 30日・中国市議会議長会第152回定期総会及び理事会

6月



- 2日・議会運営委員会
- 9日・本会議1日目
- 12日・本会議2日目



議会について学ぶ6年生たち

会議のお知らせ

閉会中の各委員会の日程は次のとおりです。

○建設経済水道

常任委員会

7月31日(月) 午前10時から

○総務文教厚生

常任委員会

8月3日(木) 午前10時から

【場所】

全員協議会室(市役所5階)

※傍聴することができます。

編集後記

市民の皆様、ぜひ本会議、委員会への傍聴にお越しください。いよいよ激しい暑さに向かいます折、ご自愛のほどお祈り申し上げます。

やない議会だより編集委員会

委員長	下村 太郎
副委員長	長友 光子
委員	岡村 茂樹
委員	岡本 泰行